

# 開成中 - 対策法

## 国語 (85点/60分)

### 【1】【2006年出題内容】

日物語文(永井龍男「黒いご飯」約 3000 字)、日随筆文(石井政之「人はあなたの顔をどう見ているか」約 2000 字)が出題されました。開成の国語は、主題・心情を読み取る読解力だけでなく、読み取った内容をまとめる文章力が求められています。まず、2006 年入試問題の問いの部分抜粋したものを掲げましたので見てください。

一

問一 ☆の部分からは、「私」が家族の中でどのような存在であったことが読み取れますか。そのことを言い表した部分を本文中の——2の後からさがし、一〇〇〜二〇〇字で抜き出しなさい。

問二 ——1「子供らしい皮肉のまじった会話」とありますが、子供たちの会話のどのような点を「皮肉」と言っているのですか。四〇字以内で説明しなさい。

問三 ——2「しかし、あまり父のことを語りすぎた」とありますが、どのような気持ちから「語りすぎた」のでしょうか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

ア 強くひたむきに生きた父を尊敬する気持ち。

イ 自分のみじめな境遇きょうごに対するうらめしい思い。

ウ 嫌いやな思い出が次々によりみがえる不快な気持ち。

エ 苦勞した父の本当の姿に対する切々とした思い。

オ 父がけちであわれであることに反発する気持ち。

問四 ——3「うす黒い御飯」を、今の「私」はどのような思い出として感じていますか。「黒い御飯」が題名になっていることもあわせて考え、四〇字以内で説明しなさい。

問五 ——①「きっとその日はよい天気であつたらう」、——②「私はその染め直した妙な紺がすりを着て、一年生の仲間に入っていたことであろう」とありますが、自分の経験なのにこのように言うのはなぜでしょうか。その理由を「前途有望な少年」という言葉を用いて五〇字以内で説明しなさい。

二

問一 ——1「この質問で雰囲気がちがりと変わり、みんなから笑顔が消えました」とありますが、このような質問をしないためにはどうすることが必要だとこの文章では述べていますか。三〇字以内で答えなさい。

問二 ——2について、あなたにも「言葉によって傷ついた経験、傷つけた経験、あるいは、だれかの言葉によって傷つく友だちを見た経験」があるのではないのでしょうか。そのときのことを思い出して書いてください。

① 経験したことを、その様子がよくわかるように一〇〇字以内で書きなさい。

② そのことについて、この文章を読んだ今どう感じていますか。五〇字以内で書きなさい。

問三 ——①④のカタカナを漢字にしなさい。一面ずついいねいに書くこと。

## 【2】 【 傾向と対策 】

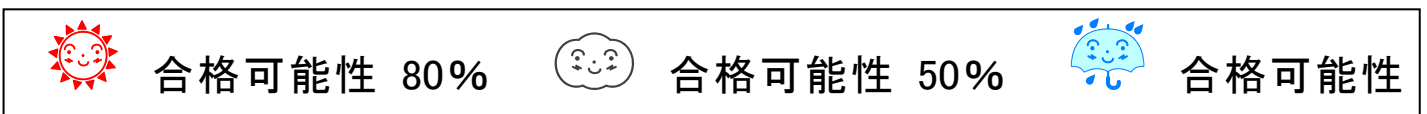
久々に選択式問題が登場しましたが、あくまで記述主体の出題です。高校新課程では「コミュニケーション能力」を重視しており、国公立大学のほとんどが記述式の回答を求めています。この傾向が御三家を中心とした中学入試問題に波及したと考えられます。

















記述の解答字数を見てみると、30字、40字、50字、100字とバラエティに富んでいるのが開成の特徴です。こうなると、自分の考えたことをすべて解答に盛り込もうとしたり、思いつきで解答を埋めていくようでは歯が立ちません。国公立大の問題と同じく、開成の問題も文章の全体把握を要求していると考えられます。全体を把握した上でないと、問いごとに必要な解答字数を考えることができないからです。

また、全体把握とともに「記述力」を鍛えておく必要があります。そのためには、同じテーマについて、短くも長くも書ける訓練をしておくのが有効です。つまり、長い文章を短く簡潔にまとめる訓練と、簡潔で短い文章を具体的に敷衍して書く訓練が必要なのです。簡潔にまとめる訓練を通じて正確な言葉の使い方を学ぶとともに、具体的に敷衍する訓練を通じて論理的思考力を養成してください。

なお、合格者平均点は44.1点、全体平均点は38.0点であり、合格者と不合格者の点差は算数に次いで大きいものとなっています。

## 【3】 【 開成国語 合格への道程 】



偏差値 (四谷) 君の学年	51~55	56~60	61~65	66~70
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

開成の80%合格圏(4科)は、四谷大塚で偏差値70以上、センター模試で偏差値70以上、サピックスで偏差値64以上、が目安です。

開成の国語で合格点を取るためには、左の図の実線のように成績が伸びていくことが理想的です。これに対して、6ヶ月以上も点線のように偏差値が伸び悩んだままですと、初めは晴れマークでも、結局は雨マークになってしまいます。国語の対策法をもっと具体的に知りたい人は、

⇒ [永田先生\(日能研\)の](#)

[国語偏差値20アップ学習法](#)

⇒ [永田国語教室](#) をご覧ください。